

平成27年度第2回
大阪府公立大学法人大阪府立大学評価委員会
議事要旨

1 日 時 平成27年8月19日（水）10時00分～

2 場 所 大阪赤十字会館401会議室

3 出席者 喜多委員長、桑原委員、篠藤委員、兵庫委員、山崎委員

4 議 事

(1) 平成26年度の財務諸表の承認について

(2) 平成26年度の利益処分の承認について

- ・ 法人から剰余金の概要について説明があり、私学・大学課から、平成26年度の剰余金については全額「積立金」として整理され、「目的積立金」への積立は行わないため、知事の承認及びそれにかかる評価委員会の意見は必要ないとの説明があった。

(3) 平成26事業年度の業務実績の評価について

- ・ 平成26事業年度の業務実績に関する評価結果（たたき台）をもとに、大項目評価、全体評価についての審議が行われた。
- ・ 5つの大項目のうち、「教育研究等の質の向上」「業務運営の改善及び効率化」、「自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供」及び「その他業務運営に関する重要目標」の4つの項目について、A評価（「計画どおり」進捗している）が妥当であると決定し、「財務内容の改善」の項目については、B評価（「おおむね計画どおり」進捗している）が妥当であると決定した。
- ・ 大項目評価の結果に加え、公立大学法人大阪府立大学の基本的な目標、平成26年度の重点的な取組み等を総合的に評価し、平成26事業年度の業務実績については、「全体としておおむね年度計画及び中期計画のとおりに進捗している」と決定した。

<主な意見>

- ・ 自治体や企業等諸機関との連携を図りながら、地域に貢献する事業の推進や人材育成についての取組みがなされていることは評価できる。
- ・ 大学教員数については、今年度は数値目標を達成していないものの、教育・研究活動に影響を及ぼさない範囲で着実な削減は行われており、計画の実施は一定進められていると認められる。
- ・ 教育研究水準の維持及び向上にむけて引き続き、教員の適正配置に努めることが望まれる。
- ・ 各種国家試験にかかる難易度の変動に対応しつつ、合格率向上にむけた継続的な対応を期待する。

- 留学生派遣による国際化の促進について、さらなる対応を期待する。
- 教員業績評価制度については、各々の専門分野の状況を踏まえた制度の導入がなされているところであるが、教育・研究活動の充実につながるよう、中長期的な視点からも、より適正な制度の検討及び実施に期待する。
- 優れた女性研究者の確保及び育成のため、引き続き、持続性のある女性研究者支援事業の充実を図られたい。
- 効率的な組織運営を図るための教職協働組織の整備や各種監査、検査体制強化など、組織改革やコンプライアンス・リスクマネジメント強化に対する取組みがなされているところであるが、今後も継続した取組みを期待する。
- 基金の効率的な活用等に加えて、大学の有する研究シーズや技術支援等のノウハウを活かしつつ、収益性向上のマインドをもって各種事業の推進にあたるなど、財務基盤の充実に努められたい。
- 施設及び設備の共有や有効活用など、工夫して経費の抑制に努められたい。
- 「データで見る公立大学法人大阪府立大学」の内容は、充実してきており、今後も幅広く、各方面において活用されることを期待する。
- 国際的な大学ランキングにおける評価の向上を図るための方策の検討や取組み強化に期待する。
- 教職員及び学生に対する「メンタルヘルスケア」や「ハラスメント防止」に関する啓発に加え、より効果的な予防措置の検討及び実施に期待する。

以上